

平成30年度

## 郡市PTAで行われた講演会

※講師の肩書きは講演会当時のものです

番号	郡市PTA	分野	講師名	ふりがな	講師の肩書き等	演題名	講演内容
1	全佐久	家庭教育 — 家族との関わり	武田 晶子	たけだ あきこ	特別支援教育士	「心豊かな子どもの育ちを願って」～子ども達は『しあわせ』と感じていますか～	ドイツでの子育て体験から、子どもたちの可能性を伸ばしていくような家族の関わり方について親の願いを押しつけるのではなく、様々な体験を通して、その子に合ったものを探り出していくこと 子どものコミュニケーションを通して、子どもの願いを感じ取っていくことが大切
2	更埴	家庭教育 — 食事	高橋 和子	たかはし かずこ	日本スポーツ協会公認 スポーツ栄養士 管理栄養士 須坂市学校給食センター栄養教諭	「子どもが育つ 食の力」 ～子どものためのスポーツ栄養～	スポーツ栄養学の観点から食のポイントを説明していただいた
3	上伊那	子どもの成長	宮崎 美紀	みやざきみのり	交流分析士インストラクター TA心理カウンセラー	子どもの心の育ち方、育て方	子どもの個々の性格がどのように成り立っていくのか、親にできる子どもの心の育て方
4	上伊那	子どもの成長—学校教育	浅川 司	あさかわつかさ	元ソルトレークオリンピックリージュ競技監督	子どもを通して学んだこと	高校教師として学んだこと…個々に応じた指導方法が大切 冬季オリンピックから学ぶ…外国と日本のコーチングの違い 管理職として学んだこと…学校の役割は「学力の保障と自立した個の育成」、指導ではなく支援
5	飯田下伊那	子どもの成長—やる気・夢・希望	喜多川 泰	きたがわ やすし	作家	あなたの子どもには、無限の可能性はある	子どもたちには無限の可能性のあることを知らせるためには、まず親が一生懸命生き、自分の可能性を信じて、無限の可能性の扉を開く瞬間を子どもに見せることが大切 それが子どもたちの生きる大きな力になる
6	木曾郡	家庭、学校、地域の連携—人権	矢島 宏美	やじま ひろみ	NPO法人 子ども・人権・エンパワメントCAP ながの代表	「子どもの心を抱きしめよう」 ～子どもが安心して過ごすために～	子どもたちは小さなSOSをたくさん出していて、それをしっかりキャッチするために大人としてどう関わっていけばよいか、寸劇を交えながら具体的な場面について、グループ討議等を通して考え合った 参加型の講演会で、とてもわかりやすく有意義だったという声をたくさんいただいた
7	東筑摩塩尻	子どもの成長—子どもの心理	大原 敬子	おおはら けいこ	幼児教育研究者 (ニッポン放送「テレフォン人生相談」のアドバイザーを約30年間務める)	「家庭の絆力」～親子の絆を育むコミュニケーション～	子どもが親に求めていること 子どもが満足する導き方
8	大北	家庭、学校、地域の連携—スポーツ	五十嵐 千恵	いがらし ちえ	ラフターヨガ講師(認定ティーチャー) 安曇野からみあラフターヨガクラブ主宰	「笑いは生きる力。自分らしく生きること」～笑顔と元気と希望をプレゼント～	ラフターヨガの体験、実践

9	松本市	子どもの成長ー夢	三輪 裕子	みわ ゆうこ	(一社)ドリームマップ普及協会代表理事	「子どもの夢の応援者になるには」～主体的に生きる力をはぐくむドリームマップ～	大人が夢や目標を語り、それを叶えるために行動している姿を見せる事の大事さ
10	上高井	家庭教育ー家庭の教育力	藤野 貴教	ふじの たかのり	(株)働きごこち研究所代表取締役 ワークスタイルクリエイター	人工知能(AI)時代 私たちの子育てと生き方とは	来たるべき社会変化において、子どもの将来に対する不安等が聞かれるようになった。そこで、人工知能の今とこれからを知り、いかに人間として幸せに働き、子を育て、生きるかというテーマについて、保護者と教師が共に学び、考える質を高め、実生活に活かすかというお話
11	長野市	家庭教育ー家族との関わり	菊池 初恵 上野マナミ (旧姓 三星)	きくち はつえ うえの まなみ	女子スピードスケート(平昌オリンピックチームパシュート出場)菊池彩花さんの母 ソチオリンピック代表(フリースタイル)	子ども達の未来	自分の経験から子どもを育てる上で大切だと思うこと